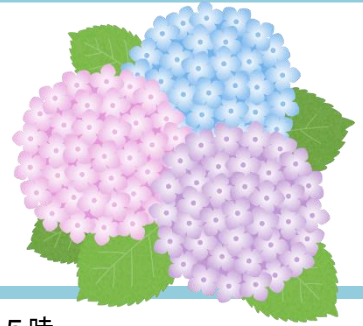


川根本町 図書室だより

6月

2021年6月号



- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時~午後5時
☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(20日)

☆ やまびこ号巡回コースは

川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。



新 着 図 書

『スマホ脳』

アンデシュ・ハンセン著 新潮社

スマホは脳に悪い

【実用】文

スマホ脳



世界的ベストセラー
上陸! 最新研究が示す
恐るべき真実
40万部突破

スティーブ・ジョブズを筆頭に、IT業界のトップはわが子にデジタル・デバイスを与えないという。なぜか?

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力の低下、依存。
最新研究が明らかにするのはスマホの便利さに溺れているうちにあなたの脳が確実に蝕まれていく現実だ。

『白鳥とコウモリ』

東野圭吾著 文藝春秋

幸せな日々は、もう手放さなければならぬ

【小説】山



遺体で発見された善良な弁護士。一人の男が殺害を自供し事件は解決のはずだった。
2017年東京、1984年愛知を繋ぐ、ある男の“告白”、その絶望。そして希望。
作家生活35周年記念作品
新たな最高傑作。
東野圭吾版『罪と罰』。

『新型コロナとワクチン 知らないとな都合な真実』

峰 宗太郎 山中 浩之著 日本経済新聞出版

新型コロナワクチンの効果とリスク

【実用】文

「新型ワクチンは9割効く、ってどういう意味?」
「なんでこんなに速くワクチンができたの?」など
メディアやネットの情報に踊らされず、冷静に自分の頭で判断するための科学的トピックをウイルス免疫学の専門家と素人の対話を通して提供する。



『大名格差 江戸三百藩のリアル』

安藤優一郎著 彩図社

お殿さまも楽ではない

【歴史】山

江戸幕府による大名統制の実態を、五つの視点から解明。
「石高でみる格差」「将軍との関係でみる格差」「江戸城でみる格差」「江戸藩邸でみる格差」「参勤交代でみる格差」という切り口を通して、未曾有の泰平の世を可能にした、幕府の巧みな仕掛けに迫る。



◎ 新着図書

新刊の詳細情報は、
【川根本町図書ネット】で検索

文化会館図書室所蔵

●『クララとお日さま』 カズオ・イングロ 著 早川書房
人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、やがて2人は友情を育んでいく。愛とは? 知性とは? 家族とは? 生きることの意味を問う感動作。
ノーベル賞受賞後、6年ぶりの新作長篇。

小説

●『Go Toマリコ』 林真理子 著 文藝春秋
Withコロナ渦中、Zoom飲み会にYouTubeデビュー。世界中が混乱した前代未聞の年に、マリコは何を語るのか?
ギネス新記録を作った「週刊文春」の人気ご長寿連載エッセイ、ついに32巻!

エッセイ

●『大義』 今野敏 著 徳間書店

俺たちの所轄で暴力は許さない!“ハマの用心棒”諸橋と、陽気なラテン系の相棒・城島、人間味溢れる刑事たちの活躍を描くスピノフ集。「謹慎」「やせ我慢」など全7編を収録。

小説



●『ノラネコぐんだんと金色の魔法使い』

工藤ノリコ 著 白泉社

各地の名物魚料理を味わいながら、広い世界を旅していたノラネコぐんだん。あるとき、「人喰い鬼が子どもをさらって食べている」という恐ろしい噂を耳にして...!? 「初めての読み物」に最適

山村開発センター図書室所蔵

●『ひとりをたのしむ』 伊集院静著 講談社
人は誰でも別れ、離れ、ひとりになる。そして誰にも静かな時間がやってくる。喧騒が消え、孤独が友となる。ひとりのときをじっと味わう。
人生、こんなたのしみもあったのだと、気づく。

エッセイ

●『初詣で』 佐伯泰英 著 文藝春秋

男と駆け落ちした鼻緒屋の娘・佳乃が3年ぶりに照降町に戻ってきた。父は病に伏し、店には職人見習いの浪人・周五郎が。町の人びとの人情に触れ、女職人として腕を磨く決意をした佳乃の前に元亭主が現れ...

小説

●『嘘かまことか』 平岩弓枝 著 文藝春秋

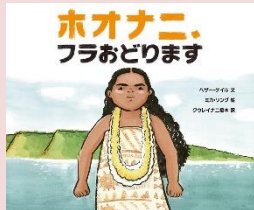
神様の書かれたシナリオを、大根役者の私が必死になって演じてきた...。「御宿かわせみ」の作者による、もうすぐ90歳の幸福エッセイ。

エッセイ



●『はりねずみのおいしゃさんとおばけのこ』

ふくざわゆみこ 作 世界文化ワンダークリエイト
はりねずみのお医者さんが出会った、恥ずかしがりやの“おばけのこ”。友だちも、自分も、好きになる。読者の背中をそっと押してくれる、心あたたまるお話



●『ホオナニ、フラおどります』

ヘザー・ゲイル 文 ミカ・ソング 絵 さ・え・ら 書房

女と男、両方の性を自認する12歳のホオナニは、ハワイの古典フラをとおして、自分の居場所をつかみとる。実話に基づく物語。



●『映画きかんしゃトーマス おいでよ!未来の発明ショー!』

ウィルバート・オードリー 原作 ポプラ社
映画のストーリーや見どころ、登場キャラクターの詳細など、たくさんの写真とともに紹介します。

おすすめ! (文化会館所蔵)



『私のカレーを食べてください』 幸村しゅう 著 小学館

孤児院育ちの少女が一杯のカレーとの出会いから料理人を志し、そこから人生を切り開いていく物語です。

「食べた人が健康で元気で笑顔になる料理をつくる」ためには「まずはやさしい手をつくること」そのために料理の前に手をもみ、祈りのような敬虔さで食べる人の顔を思い浮かべる少女。

そのひたむきな姿に胸が熱くなります。幾多のスパイスをブレンドして作る、日本のカレーとは少し違うカレーの描写からスパイスの奥深い世界観が味わえます。巻末にはお話の中で登場したカレーのレシピがっています。

パワーがもらえる小説!!

第2回「日本おいしい小説大賞」受賞作です。

図書室スタッフS